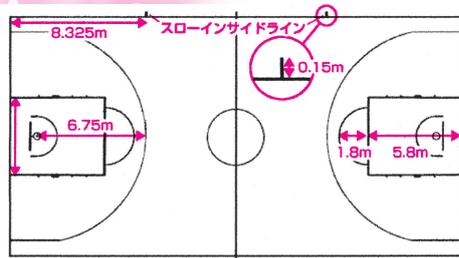


バスケットボールの 公式戦が出来る総合体育館に



野網 義一 議員



●ラインに関する変更点

1. 制限区域が台形から長方形に
2. スリーポイントラインの変更
3. ノーチャージセミサークルの新設
4. スローインサイドラインの新設

町長 体育館の職員も十分承
知しながら今日まで来た経
過もある。

分承知していたが、ミニバ
スケットではフリースロー
ラインを含めて台形のまま
使っており、4月、6月、
10月、12月、1月、2月と
大会を開催して現在まで来
たのが実態。
ミニバスケットの関係
者と協議し、ラインの変更
について了解が得られたの
で補正予算を組んで対応す
る。
公式戦が出来るように
なれば大きな大会の誘致も
検討したい。

町長

池田町の総合体育館は大きく、利用料も安く誇りに思っ
ている。ところが、バスケットボールを練習しておられる方た
ちから、「総合体育館はバスケットボールの公式戦が出来ない」
と聞き、大変ショックであった。
その理由は、FIBA（国際バスケットボール連盟）が
2010年にルール変更し、日本協会もその新ルールを採用
しているから、11年4月から適用され13年3月31日までが移
行期間で4月からは完全実施。総合体育館は新ルールに準じ
たライン変更がされていないので県協会から「公式戦で使え
ない」とされた。
ミニバスケットボールの大会が行われる大垣市総合体育館
ではルール変更にあわせラインが引かれているのに池田町総
合体育館はどうして出来ないのか。

池田公園を拡張し サッカーの出来る芝生広場を

フットボール少年団は80名近くの団員を抱え84年の設立か
ら33年が経過している。卒団生の中には海外遠征された人や、
国体やインターハイに出場するなど多方面で活躍している人
もいる。

練習は揖斐川河川敷の杉野グラウンドで第三日曜日を除く
土日の午前中に行われている。

河川敷の制約を受け、水道も引けないトイレも汲み取り
式の仮設。草取りや石拾いをして整備されている。また、交
通事故や熱中症が心配されている。

グラウンドゴルフなどの各種大会も行われる池田公園を拡
張し、芝生広場も設置して、不足している駐車場やトイレも
整備すべき。第6次総合計画の中に、しかも初年度の実施計
画に盛り込み夢を実現してほしい。

町長

2012年1月にはク
ラブから専用グラウンドを
建設してほしいとの要望も
受けている。池田公園は東
西160m南北81mあり、
少年団向けの50m×68mが
二面、35m×50mが一面が
同時に取れる。中学生と一
般は68m×105mが必要
で真ん中で取れる。20年か
ら始まる総合計画の中に組



杉野グラウンドにて

み込み、財源や他団体との
調整などを進めたい。